

2	款	総務費	1	項	総務監理費	13	目	交通安全対策費												
事業	事務事業名	交通安全対策費										担当	部名	市民生活部						
074	予算事業名	(交通安全対策費)										課名	生活安全課							
												電話	51-6623							
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度							実施方法 (H27)	業務委託								
	総合計画	施策の大綱	第 4 部	潤いのある安心して暮らせるまち						一部業務委託										
		政策(章)	第 4 章	安心して暮らせるまちづくり																
		施策(節)	第 3 節	交通安全・防犯対策の推進						市直営										
	根拠法令等	交通安全対策基本法 第 10 次富山県交通安全計画																		
事業目的	対象	誰を・何を	全市民																	
	意図	どのような状態に	人命尊重の理念の下に、市民が安全、安心を実感できる総合的な交通安全対策を推進し、交通事故そのものを減少させる。																	
成果指標	事業目的を達成する指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名													
		人	5	3	4	0	交通死亡事故者数													
		件	381	380	325	320	人身事故件数													
事業内容	手段	どのような方法	参加・体験・実践型の交通安全教育の実施(交通安全教室等) 交通安全思想の普及活動(交通安全運動、高齢者ふれあい訪問) 安全運転の確保(ドライビング教室)																	
			単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名												
活動指標	事業内容の活動を提示する指標	箇所	42	67	77	80	交通安全教室の開催数													
		人	4,366	5,754	8,942	9,000	交通安全教室の受講者数													
		その他説明を要する事項																		
事業コスト	財源内訳	項目(単位:千円)	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事業コストに関する特記事項													
		直接事業費	6,319	6,375	6,147	5,930														
		(当初予算額)	(6,319)	(6,375)	(6,147)															
		うち臨時職員人件費																		
		国・県支出金	527	533	526	526														
		地方債																		
その他																				
一般財源	5,792	5,842	5,621	5,404																
個別評価	評価項目	説明																		
	妥当性 (a~c)	a	交通対策基本法で市町村の責務が明記されているほか、安全・安心なまちづくりにとっては必要不可欠なものである。																	
	有効性 (a~c)	a	現在、市内の事故情勢は、平成25年度の交通死者数(7人)及び人身事故件数(381人)と比べると減少傾向にある。しかしながら、県内では、平成27年度の交通死者数は70人と、平成26年度(44人)と比べ36人もの増加であり、本年度もさらなる交通安全対策が必要である。																	
	効率性 (a~c)	a	交通安全対策は、地道な活動の積み重ねであり、一つの活動がそのまま成果に表れるものではないことから、各事業を一つずつ行っていくことが重要である。																	
総合評価(1次評価)	評価結果 (A~C)	A	現行どおり事業を進めることが適当																	
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等																		
	廃止・休止	射水市内の全高齢者を対象とした、特に、交通安全教室などに参加しないような高齢者に対する反射材や交通安全思想の普及を図る必要がある。また、各交通安全団体と連携した子どもに対する交通安全教室を開催し、交通安全意識の高揚を図るとともに、地域ぐるみで見守る機運を醸成する。 警察との連携による人身事故発生場所等を分析した上で、交通安全対策を講じ、死亡事故につながる人身事故の数の減少を図っていく必要がある。																		
	規模縮小																			
	統合・連携																			
	民間活用																			
	負担適正化																			
	やり方改善																			
現行どおり																				
拡充																				
総合評価(2次評価)	評価結果 (A~C)																			
評価委員会のコメント																				

2 款	総務費	1 項	総務監理費	13 目	交通安全対策費		
事業	事務事業名	交通安全対策費				担当部署	市民生活部
	074	予算事業名	(交通安全対策費)				課名
						電話	5 1 - 6 6 2 3
評価項目	評価の視点	内容 (該当は、非該当は×) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない (妥当性を a とする)					判定
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。					
有効性	受益者・費用負担	事業内容 (手段) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。					
	政策体系との整合性	事業の成果 (意図) が、上位施策の目標達成に結びついている (貢献している)。					
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。					
	成果の向上余地	事業内容 (手段) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。					
効率性	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。					
	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 (手段) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 (手段) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。					
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。					
評価結果	個別評価 (a ~ c)	妥当性	有効性	効率性	総合評価 (A ~ C)	評価結果	
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当	

性質	交付先区分		類型区分					
	補助区分		算定方法					
交付状況	項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	特定財源	項目	
	補助金等交付件数							
	補助金等交付額							
交付団体状況	うち一般財源					事務局体制		
	項目	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算			項目
	交付先歳入決算額							
	補助金の占める割合							
	交付先歳出決算額							
	次年度繰越額							
事業目的	対象	誰を・何を					法人会員数	
	意図	どのような状態に						個人会員数
事業内容	手段	どのような方法で						

2	款	総務費	1	項	総務監理費	13	目	交通安全対策費					
事業	事務事業名	交通指導員連絡協議会助成金						担当	部名	市民生活部			
								課名	生活安全課				
075	予算事業名	(交通安全対策費)						電話	51-6623				
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				実施方法 (H27)					
	総合計画	施策の大綱	第 4 部	潤いのある安心して暮らせるまち									
		政策(章)	第 4 章	安心して暮らせるまちづくり									
		施策(節)	第 3 節	交通安全・防犯対策の推進									
	根拠法令等	富山県交通指導員制度実施要綱、射水市交通指導員設置要綱											
事業目的	対象	補助金等交付先	交通指導員連絡協議会										
	意図	補助金等交付目的	地域住民に交通安全の指導及び啓発を行うとともに、交通安全意識の高揚を図ることで、交通事故を防止し、明るい射水市の実現を目指す活動を行う。										
成果指標	事業目的を達成する指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名						
		回	20	43	43	45	参加行事の開催回数						
事業内容	手段	補助金等受ける実施主体の活動	1 各季の交通安全運動期間中の各種事業 シートベルト着用や飲酒運転根絶などのキャンペーンなど 2 交通安全対策にかかる街頭指導、交通安全教室、各種大会の実施										
			単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名					
活動指標	補助金等交付件数	件	1	1	1	1	助成金交付件数						
		備考											
事業コスト	項目(単位:千円)		H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事業コストに関する特記事項						
	直接事業費(補助金等交付額)		100	100	100	100							
	(当初予算額)		(100)	(100)	(100)								
	うち臨時職員人件費												
	財源内訳	国・県支出金											
		地方債											
その他													
一般財源		100	100	100	100								
個別評価	評価項目		説明										
	妥当性 (a~c)	a	富山県警察本部長及び射水市長より委嘱を受け、射水市内の交通安全の指導及び啓発を行い、交通安全意識の高揚を図って、日々、交通事故の防止に努めている。										
	有効性 (a~c)	a	交通指導及び交通安全知識においては経験に裏打ちされたものがあり、受傷事故防止の観点からも代替ができない。このため、一つの活動が即、交通事故の防止につながることは検証できないものの、有効性は非常に高い。										
	効率性 (a~c)	a	交通安全対策は、地道な活動の積み重ねであり、一つの活動がそのまま成果に表れるものではないことから、各事業を一つずつ行っていくことが重要である。										
総合評価 (1次評価)	評価結果 (A~C)	A	現行どおり事業を進めることが適当						評価結果 (A~C)		評価委員会のコメント		
	今後の方向性		改善内容・現行どおりとする理由等						総合評価 (2次評価)				
	廃止・休止		射水市の交通事故を一件でも減少させることを目的に日々の地道な活動を行っており、すべての活動が日の目を見るわけではない。しかしながら、各種活動を実効性のあるものにするよう工夫を凝らすよう努力しなければならず、富山新港まつりの歩行者誘導など、市行事において、交通事故を防止する活動を積極的に行う。										
	規模縮小												
	統合・連携												
	民間活用												
	負担適正化												
	やり方改善												
現行どおり													
拡充													

2 款	総務費	1 項	総務監理費	13 目	交通安全対策費			
事業	事務事業名	交通指導員連絡協議会助成金				担当部	市民生活部	
	075	予算事業名	(交通安全対策費)				課名	生活安全課
						電話	5 1 - 6 6 2 3	
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。						
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。						
有効性	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。						
	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。						
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。						
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。						
効率性	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。						
	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員に従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。						
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。						
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。						
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	a 適合	有効性	a 適合	効率性	a 適合	
		総合評価 ( A ~ C )	A		現行どおり事業を進めることが適当			

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助
		団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等
	補助区分	定額	算定方法	予算の範囲内で交付		
	定率					
	その他					
交付状況	項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	特定財源
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件	なし ( 市単独補助 )
	補助金等交付額	100 千円	100 千円	100 千円	100 千円	国補助 ( % )
	うち一般財源	100 千円	100 千円	100 千円	100 千円	県補助 ( % )
	項目	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事務局体制
交付先歳入決算額	100 千円	100 千円	100 千円		非該当・事務局なし	
補助金の占める割合	100.0 %	100.0 %	100.0 %		担当課が主体	
交付先歳出決算額	100 千円	100 千円	100 千円		交付団体が主体	
次年度繰越額	0 千円	0 千円	0 千円		その他	
歳出に占める割合	0.0 %	0.0 %	0.0 %		↳ ( )	
事業団体制	団体構成員	会費負担あり		会費負担なし		法人会員数
	会費負担	↳ ( 会費: )				0 団体
事業目的	対象	交通指導員連絡協議会				
	補助金等交付目的	地域住民に交通安全の指導及び啓発を行うとともに、交通安全意識の高揚を図ることで、交通事故を防止し、明るい射水市の実現を目指す活動を行う。				
事業内容	手段	1 各季の交通安全運動期間中の各種事業 シートベルト着用や飲酒運転根絶などのキャンペーンなど 2 交通安全対策にかかる街頭指導、交通安全教室、各種大会の実施				
	補助金等交付を主とする活動					

2	款	総務費	1	項	総務監理費	13	目	交通安全管理費				
事業	事務事業名	交通安全協会支部助成金					担当	部名	市民環境部			
								課名	生活生活課			
076	予算事業名	(交通安全対策費)					電話	51-6623				
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度								
	総合計画	施策の大綱	第 4 部	潤いのある安心して暮らせるまち								
		政策(章)	第 4 章	安心して暮らせるまちづくり								
		施策(節)	第 3 節	交通安全・防犯対策の推進								
	根拠法令等											
事業目的	対象	補助金等交付先	射水市交通安全協会									
	意図	補助金等交付目的	交通道德の向上と交通事故防止活動の推進に努め、地域における交通安全の発展に寄与することを目的とし、関係機関団体等との連携を図り、各種交通安全活動を実施する。									
成果指標	事業目的を達成する指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名					
		人	381	380	325	320	交通人身事故件数(射水市内)					
		回	293	288	291	310	各種事業・活動の開催回数					
事業内容	手段	補助金等受ける実施する主な活動	1 交通安全対策事業 ・交通安全運動等の推進と街頭活動の実施 ・運転者・自転車利用者に対する安全活動 ・交通安全用品等の配布・普及・貸出し 2 交通安全啓発・広報事業 ・各種交通安全大会・交通安全教室の開催 3 交通安全活動支援事業									
			単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名				
活動指標	補助金等交付件数	件	1	1	1	1	助成金交付件数					
備考	その他説明を要する事項											
事業コスト	項目(単位:千円)		H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事業コストに関する特記事項					
	直接事業費(補助金等交付額)		1,350	1,350	1,350	1,215	これまで、射水市内の安全協会各支部(27支部)に対しそれぞれ5万円を助成していたが、平成28年度より1支部当たり45千円に減額となった。					
	(当初予算額)		(1,350)	(1,350)	(1,350)							
	うち臨時職員人件費											
	財源内訳	国・県支出金										
		地方債										
その他												
一般財源		1,350	1,350	1,350	1,215							
個別評価	評価項目		説明									
	妥当性(a~c)	a	各種交通安全活動は、各支部の活動により成り立っており、地域住民に対する交通安全啓発や交通安全意識の高揚を図ることで、射水市全体の交通事故のない街づくりの実現に必要なものである。									
	有効性(a~c)	a	直接的な目的達成の評価はしにくいものの、交通事故の減少や交通安全意識の向上が図られることで目的の達成と評価できる。ただ、同活動においては継続的なことであり、一過性のものではない。									
	効率性(a~c)	a	交通安全対策は、地道な活動の積み重ねであり、一つの活動がそのまま成果に表れるものではないことから、各事業を一つずつ行っていくことが重要である。									
総合評価(1次評価)	評価結果(A~C)	A	現行どおり事業を進めることが適当					評価結果(A~C)				
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等					総合評価(2次評価)	評価委員会のコメント				
	廃止・休止											
	規模縮小											
	統合・連携											
	民間活用	引き続き、射水地区安全協会を通じて各支部の活動状況の把握に努め、効果的な事業の実施について連携を図っていく。										
	負担適正化											
	やり方改善											
現行どおり												
拡充												

2 款	総務費	1 項	総務監理費	13 目	交通安全管理費		
事業	事務事業名	交通安全協会支部助成金				担当	部名 市民環境部
	076	予算事業名	(交通安全対策費)				課名
						電話	5 1 - 6 6 2 3
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					判定
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。					
有効性	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。					
	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。					
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。					×
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。					
効率性	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。					
	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員に従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。					
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。					
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果	
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当	

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助
		団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等
	補助区分	定額	算定方法	射水市内の安全協会各支部 ( 27 支部 ) に対しそれぞれ 5 万円を助成。平成 28 年度より 1 支部当たり 45 千円に減額。		
		定率				
		その他				
交付状況	項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	項目
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件	なし ( 市単独補助 )
	補助金等交付額	1,350 千円	1,350 千円	1,350 千円	1,215 千円	国補助 ( % )
	うち一般財源	1,350 千円	1,350 千円	1,350 千円	1,215 千円	県補助 ( % )
交付団体状況	項目	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	項目
	交付先歳入決算額					非該当・事務局なし
	補助金の占める割合					担当課が主体
	交付先歳出決算額					交付団体が主体
	次年度繰越額					その他
	歳出に占める割合					↳ ( )
事業目的	対象	射水市交通安全協会				
	意図	交通安全の向上と交通事故防止活動の推進に努め、地域における交通安全の発展に寄与することを目的とし、関係機関団体等との連携を図り、各種交通安全活動を実施する。				
事業内容	手段	1 交通安全対策事業 ・交通安全運動等の推進と街頭活動の実施 ・運転者・自転車利用者に対する安全活動 ・交通安全用品等の配布・普及・貸出し				
		2 交通安全啓発・広報事業 ・各種交通安全大会・交通安全教室の開催 3 交通安全活動支援事業				
	補助金等の受け手	法人会員数 27 団体 個人会員数 支部会員 674 人				

2	款	総務費	1	項	総務監理費	13	目	交通安全対策費				
事業		事務事業名	交通安全母の会助成費					担当	部名	市民生活部		
077		予算事業名	(交通安全対策費)					課名	生活安全課			
								電話	51-6623			
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度	終了年度				実施方法 (H27)				
	総合計画	施策の大綱	第 4 部	潤いのある安心して暮らせるまち								
		政策(章)	第 4 章	安心して暮らせるまちづくり								
		施策(節)	第 3 節	交通安全・防犯対策の推進								
		根拠法令等	射水市交通安全母の会会則									
事業目的	対象	補助金等交付先	射水市交通安全母の会									
	意図	補助金等交付目的	交通事故をなくし、安全で快適な交通社会を築くために、母親の地域・家庭における交通安全の意識の高揚と実践を行う。									
成果指標	事業目的を達成する指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名					
		件	381	380	325	320	交通事故人身事故件数					
		回	6	7	7	9	各種活動開催回数(ふれあい訪問等)					
事業内容	手段	補助金等受取の実施活動	1 各季の交通安全運動に伴う各種啓発・広報活動 2 各種交通安全啓発活動 (1) 高齢者ふれあい訪問 (2) 交通安全マスコット作成及び贈呈									
		補助金等交付件数	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名				
活動指標	補助金等交付件数	件	1	1	1	1	助成金交付件数					
備考	その他説明を要する事項		補助金135千円の中から、毎年40千円を富山県交通安全母の会へ負担金として支出している。									
事業コスト	項目(単位:千円)		H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事業コストに関する特記事項					
	直接事業費(補助金等交付額)		135	135	135	135						
	(当初予算額)		(135)	(135)	(135)							
	うち臨時職員人件費											
	財源内訳	国・県支出金										
地方債												
その他												
一般財源		135	135	135	135							
個別評価	評価項目		説明									
	妥当性(a~c)	a	交通安全対策において、母親や女性という目線できめ細かい各種交通安全活動の展開を期待している事業であり、広く交通安全意識の普及という観点から必要であると考えます。									
	有効性(a~c)	a	同団体の活動が、即、射水市内の交通事故件数の減少に反映されることへの検証はできないものの、交通安全対策の重点として『子どもの交通事故防止』が取り上げられている点を捉え、子どもの身近な存在であることから有効性は期待できる。									
	効率性(a~c)	a	交通安全対策は、地道な活動の積み重ねであり、一つの活動がそのまま成果に表れるものではないことから、各事業を一つずつ行っていくことが重要である。									
総合評価(1次評価)	評価結果(A~C)	A	現行どおり事業を進めることが適当						評価結果(A~C)			
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等						総合評価(2次評価)				
	廃止・休止	現在の予算及び体制でできる限りの事業を行っているが、さらに工夫を凝らした交通安全活動を展開し、射水市の交通安全対策を実行性あるものにしていく。										
	規模縮小											
	統合・連携											
	民間活用											
	負担適正化											
	やり方改善											
現行どおり												
拡充												

2 款	総務費	1 項	総務監理費	13 目	交通安全対策費		
事業	事務事業名	交通安全母の会助成費				担当部	市民生活部
						課名	生活安全課
077	予算事業名	(交通安全対策費)				電話	5 1 - 6 6 2 3
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )					判定
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。					
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。					
	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。					
有効性	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。					
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。					×
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。					
	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。					
効率性	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員の従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。					
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。					
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。					
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	有効性	効率性	総合評価 ( A ~ C )	評価結果	
		a 適合	a 適合	a 適合	A	現行どおり事業を進めることが適当	

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助
		団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等
	補助区分	定額		射水市交通安全母の会の活動費 ・高齢者ふれあい訪問及び交通安全マスコット作成に係る経費 ・県母の会への負担金		
		定率	算定方法			
		その他				
交付状況	項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	特定財源
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件	なし ( 市単独補助 )
	補助金等交付額	135 千円	135 千円	135 千円	135 千円	国補助 ( % )
	うち一般財源	135 千円	135 千円	135 千円	135 千円	県補助 ( % )
	項目	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事務局体制
交付先歳入決算額	135 千円	135 千円	135 千円		非該当・事務局なし	
補助金の占める割合	100.0 %	100.0 %	100.0 %		担当課が主体	
交付先歳出決算額	116 千円	119 千円	115 千円		交付団体が主体	
次年度繰越額	19 千円	16 千円	20 千円		その他	
歳出に占める割合	16.4 %	13.4 %	17.4 %		↳ ( )	
交付団体状況	団体構成員	会費負担あり			会費負担なし	
	会費負担	↳ ( 会費: )			法人会員数	団体個人会員数
						112 人
事業目的	対象	射水市交通安全母の会				
	意図	交通事故をなくし、安全で快適な交通社会を築くために、母親の地域・家庭における交通安全の意識の高揚と実践を行う。				
事業内容	手段	補助金等を交する活動 1 各季の交通安全運動に伴う各種啓発・広報活動 2 各種交通安全啓発活動 ( 1 ) 高齢者ふれあい訪問 ( 2 ) 交通安全マスコット作成及び贈呈				